

ピリオド楽器のぬくもり ～ウィーン古典派を巡って～

今日、よく聴かれるヴァイオリンやピアノは、その昔から現代の形であったわけではありません。当時、演奏され聴かれていたのは、金属ではなくガット（羊の腸）を張ったヴァイオリン、そしてピアノも、金属のフレームを使わない木でできたものでした。今回は、そのような楽器を使用して、18世紀後半～19世紀初頭のウィーン古典派時代の響きをお届けいたします。作曲された時代に思いを馳せながら、ぬくもりのある響きをお楽しみください。

Profiel



勝森菜々 (NANA KATSUMORI)

大阪府出身。京都市立芸術大学音楽学部卒業。

ヴァイオリンを岡本かへで、五十嵐由紀子、桑原謠子、大谷玲子の各氏に師事。

第11回日本演奏家コンクール弦楽部門特別賞及び協会賞受賞。第13回ルーマニア国際音楽コンクール（弦楽四重奏）にてセバスチャン賞を受賞し、翌年、ルーマニアでの音楽アカデミーに招待される。第29回日本クラシック音楽コンクール室内楽部門第2位（最高位）。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、セイジ・オザワ松本フェスティバルにて子どものための音楽会に参加。

現在、東京藝術大学大学院修士課程古楽科に在籍中。若松夏美氏の元でバロックヴァイオリンを学んでいる。

木村彩乃 (AYANO KIMURA)

愛知県出身。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部を桑原賞を受賞し首席で卒業。

第30回愛知ピアノコンクール金賞、第27回尾東音楽コンクール金賞及び県知事賞。ジョルジュ・ナードル、故ジャン・ジャック・バレの各氏によるマスタークラス、川口成彦氏のレッスンを受講。大学在学時には大学院オペラの稽古ピアニストを務め、佐藤正浩、山本敦子の各氏より指導を受ける。これまでにピアノを宮田淳子、宮田俊雄、桑野郁子、藤井博子、上野栄美子、中尾純の各氏、ソルフェージュと作曲を上田真樹氏、フォルテピアノを小倉貴久子氏、通奏低音とチェンバロを戸崎廣乃、廣澤麻美の各氏に師事。

現在、東京藝術大学大学院修士課程古楽科に在籍中。2022年度山田音楽財団奨学生。

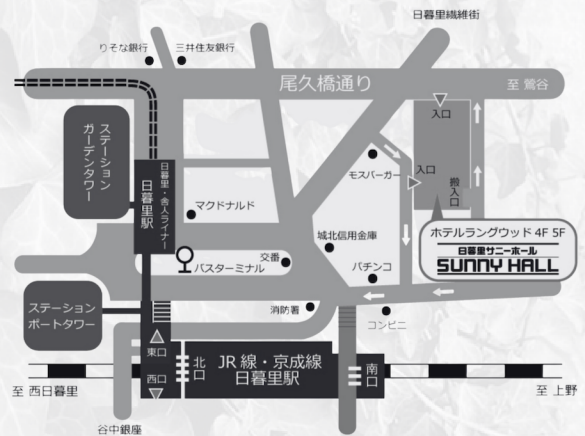


Fortepiano



デュルケン J. L. Dulcken 1795年
（復元楽器 太田垣至製作）

Access



〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4階

Tel. 03-3807-3211

JR、京成、日暮里・舎人ライナー 日暮里駅より徒歩約2分